

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名										担当部課		部課コード		081200		TEL		04-2991-1813			
事業コード		乳児家庭全戸訪問事業								健康づくり支援課											
081212																					
開始年度										平成7		年度		→		終了年度		年度			
グループ										健康づくり第1G											
②事業の概要		事業の種類								■ 自治事務		□ 法定受託事務		□ 法定受託＋附加		根拠法令					
		分野別計画・指針								所沢市子ども・子育て支援事業計画						児童福祉法、母子保健法、所沢市母子保健事業実施要綱					
		関連・類似事業																			
		総合計画の体系								章		健康・福祉		節		保健・医療		基本方針		生涯を通した健康づくりの推進	
		事業開始の背景								少子化、核家族化の社会背景の中で、母親の育児不安に早期に対応するために平成7年から開始した。今日では児童虐待防止が母子保健における大きな課題になっている。また、若年及び高齢、精神的な問題を抱えたり、DVや虐待被害のある母親への支援、低出生体重児を出産した母親への心理的サポート等、ニーズも複雑化しており、妊娠中や出産後早期の対応が求められている。											
③事業の内容		目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)																			
		妊娠中及び出産後早期に訪問指導を行うことによって、親の孤立感や育児負担の軽減、虐待防止に繋げることができる。その結果、母子の健全な育成を図ることができる。																			
		対象(誰を、何を対象としているのか)																			
		①新生児・妊産婦訪問妊婦、②未熟児訪問、③こんにちは赤ちゃん訪問、④継続支援訪問の対象となった妊産婦、新生児、乳幼児(延べ数)																			
		対象数		単位		平成 26 年度				6,926		人									
						平成 27 年度				6,259		人									
		事業の具体的な内容及び実施方法																			
		①対象:妊産婦及び乳児(新生児) 内容:保健師または助産師が、出生連絡票や電話による訪問希望があった家庭を訪問し、必要な保健指導を行う。																			
		②対象:未熟児養育医療受給者とその家族 内容:保健師が家庭訪問し、未熟児の健やかな成長を支援するとともに、保護者への重点的な支援を行う。																			
		③対象:生後4か月までの乳児(ただし、上記①、②で訪問した児は除く) 内容:看護師が家庭訪問し、養育環境等の把握や助言を行い、育児負担の軽減、虐待防止につなげる。																			
		④対象:健康相談等の結果、継続的支援が必要とされた妊産婦及び乳幼児 内容:保健師が家庭訪問し、必要な指導等を行い、乳幼児の健全育成と保護者への育児支援を図る。																			
④経費		＜会計種別＞		一般会計		平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)											
		予算現額				9,078		11,876		12,934											
		決 算 (見込み含む)				8,370		11,215													
		(非常勤特別職員)		(臨時任用職員)		(人)		(2.00 人)		(人)		(2.00 人)									
		正規職員人件費				3.76 人		32,791		2.83 人		24,508									
		事業費合計				41,161		35,723													
		財源内訳		一般財源		37,970		30,929		7,248											
				国・県支出金		3,191		4,794		5,686											
				その他()		0		0		0											
⑤実績		項目名		項目説明		単位		H 26		H 27		H28見込み		将来目標							
		訪問件数		訪問件数の合計(延べ数)		人		6,926		6,259											
		訪問指導件数		訪問指導した件数(延べ数)		人		5,820		5,346											
⑥成果		項目名		項目説明		単位		H 26		H 27		H28目標値		将来目標							
		成果指標		訪問指導実施率		%		目標値		80		83		85		85					
								実績		84		85		☒ 「実績」拡大図る		☐ 「実績」縮小図る					
		目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%		達成率		105		103		↑どちらかをチェックしてください							
⑦改善点		(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)																			
		出生体重が1,500g以下の児については、特に長期に渡り入院するケースが多いことから、児の入院中から家庭訪問を行い、入院期間中の保護者の不安軽減を図った。																			
		(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析																			
		-																			
⑧評価		評価		事業実施方法(複数選択可)		理由		少子化、核家族化が進む社会背景の中で、母親の抱える悩みも複雑化、多様化しており、より一層の支援の充実が必要である。													
		次年度予算		理由		母の育児不安等に早期に対応することは、母子の健全育成、虐待防止につながっており、今後も引き続き実施していく必要があるため。															
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況																			
		(2)今後の方向性																			
		核家族化や地域との関係が希薄になっている社会状況の中で、妊娠中や出産直後は一層地域から孤立する時期である。この時期に母の育児不安に対応することは、母子の健全育成、虐待防止につながる。																			
		「新生児・妊産婦訪問」、「こんにちは赤ちゃん訪問」などにより、早期に関わりが必要な母子への訪問を実施することで、育児不安・負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっているため、より充実した支援を目指していく。																			
		評価日		H28.8.12		評価者職氏名		健康づくり支援課長 瀧江 弘行													
⑨環境影響		有益な環境影響				有害な環境影響を及ぼす原因活動		文書の作成		規制を受ける環境法令等		無									
										緊急事態		無									